

鉄道管理局が手配することになっているが、最初の3日間にかぎり支社が他の支社に対し、鉄道管理局が他の鉄道管理局に対して手配をすることができる。(中尾稲三)

かしゃせいそう 貨車清掃 貨物取卸後貨車を汚損したままの状態におくときは、つぎに配車した場合他の貨物を汚損させるばかりでなく、貨車の保守上からも好ましくないので、貨車を使用したのちはこれを清掃することにしている。この清掃の負担は現在小口貨物積車および鮮魚等のように水洗を要する車扱貨物積の有がい貨車にあっては国鉄において行い、その他の車扱貨物積貨車にあっては到着した方の貨主が行うことになっている。(重森直樹)

かじやせん 鍛冶屋線 加古川線野村駅から西北方の鍛冶屋駅に至る13.2kmの線。山陽線に属し線路等級は丙線である。

大正2・8野村・西脇間、大正12・5西脇・鍛冶屋間を播磨鉄道株式会社が建設営業中のところ、昭和18・6政府において買収し鍛冶屋線と呼ぶこととした。(森 梯寿)

かしゃせんしゃだい 貨車選車台 貨物積卸線が長くて末端付近の貨車の入換が困難であったり、配線その他の関係で頭の方へ貨車を引上げることが具合の悪いような場合に、貨物積卸線の末端付近に設備され、これと平行に敷設された他の線路(たとえば貨物積卸補助線)に貨車を移動させるための機械で、線路に対して直角に動く線路付きの台である。この台の上に貨車を載せて動かし、別の線に台上の線路を一致させて、貨車を送り出して移動させる装置である。手動式のものや電動式のものがあり、またビット式のものや地上式のものがあり、俗にソロバンともいっている。(近藤正弘)

かしゃせんじょうせつび 貨車洗じょう設備 (英) freight car wash facilities 鮮魚・家畜・野菜等の荷卸後の貨車内の汚物・汚汁を洗い流すのに必要な設備。停車場構内の一定の側線に水道、洗じょう台および汚物・汚汁が道床に浸透しないようにコンクリート床を設け、かつその排水設備を完備する。夜間作業するときはさらに照明設備も必要となる。

着駅荷卸後ただちに洗じょうするのが好ましいが、各着駅ごとにこの設備を設けるのは場所、要員、設備費等の関係で困難な場合が多いので、近接の大駅に回送集約して実施するのが多い。また発駅で積込前に再洗じょうする場合にも必ずこの設備を必要とする。主として冷蔵車、家畜車、通風車等を洗じょうする。(村田蔵人)

かしゃそうしやじょう 貨車操車場 (英) freight-car classification yard (独) Rangierbahnhof für Güterwagen (仏) champ de triage des wagons 貨物列車は旅客列車のように1編成の車両群を一定区間に運転するのと異なり、1車1車その行先が違っている車両群で編成されており、各駅で解放連結の作業をしながら運転される。したがって貨車の運用効率を高めるために一定区間ごとにまとめて貨車の整理組替えを行い、遠距離行きの車両を一括して直行貨物列車を仕立てたり、近距離行きの貨車を先行駅の順序にならべて解放連結を便利にする必要がある。このような貨車の組替え整理の作業を操車場といい、操車を行う場所を操車場という。わが国には田端、大宮、新鶴見、稲沢、吹田のように全然独立した大操車場もあれば、普通駅の構内に操車場が設けられている場合もある。

1 操車場の位置

貨車操車場は多くの貨車を集中して整理を行うものであるから、全国的な貨物の流れを調査して、なるべく貨車の集中する場所に設置される。

(1) 大都市付近の操車場

わが国の貨物輸送の大宗は大都市を中心に集散しているため、貨車もこの付近に集中して来る。したがって貨車の操車は大都市の郊外に大操車場を設けて行うのが最も能率的である。東京における新鶴見、大宮、田端、名古屋の稲沢、大阪の吹田等わが国の最大操車場はすべて大都市付近に設置されている。

(2) 鉄道網中の交差点にある操車場

鉄道幹線の交差している場所または幹線から数本の支線が分岐している場所等は必然的に貨車も集まり、行き先別の貨車の仕訳が必要となってくるので操車場が設けられる。岩見沢、長町、米原、岡山、広島等大都市付近の操車場につぐ大操車場はすべてこれである。

(3) 港湾地域にある操車場

陸上輸送の終点である港湾には操車場が必要である。横浜の横浜港、大阪の浪速、神戸の神戸港は外国貿易に対する操車場であり、青森、函館、宇野、高松は国内輸送に対するものである。後者は貨物の積卸荷役の手数を省くため貨車航送が行われていることは周知のとおりである。

(4) 地方の操車場(大操車場の補助をする二次的操車場)

近年人口の増加、都市の生産力の増大に伴ない、貨車はますます都会に集中する傾向があるので、都市付近の操車場は操車能力の限度をこすような状態になってきた。このためこれらの大操車場ではなるべく方面別の大仕訳を行い、駅別に整理したりするような作業は、別に小操車場を地域的に設置して行うようになってきた。これらの小操車場は幹線輸送には関係なく、かざられた地方の貨車の集散整理を行うのがその使命である。浜川崎、入江、高島、東灘、鷹取等はこれらの代表的なものであり、新宿、龍華等はその使命の一部にこのような性格をもっている操車場である。

2 操車場の種類

操車場は操車の方法によってつぎの3種類に分けられる。

(1) 平面操車場

操車場の最も代表的なもので、水平に設置された仕訳線に機関車をもって突放入換をして貨車の整理を行うものである。これは仕訳する貨車の多いところでは非能率的であり、操車費が比較的高価であるが、建設費が安いのでたいの操車場はこの形式である。

わが国において扱両数1,500両以上の平面操車場を有する停車場は第1表に示すとおりである。

なお平面操車場は原則として水平を選ぶが、分解能力を増加させるため引上線および仕訳線に補助勾配(こうばい)を設けることがある。

第1表 平面操車場

駅名	中継車数 (30年1日平均)	線数	総有効長
長 町	1,954	27	12,623m
新 小 岩	1,554	18	5,585m
米 原	1,293	18	6,300m
梅 小 路	1,676	25	4,500m
岡 山	2,118	26	11,410m
幡 生	2,130	21	6,667m
門 司	3,148	24	8,840m
直 方	2,987	22	7,870m

(2) ハンプ操車場

操車すべき貨車が非常に多く貨車の行先が多方面にわたり、複雑な場合には図-1のように人工的に作った小丘(ハンプ)の上に貨車を押し上げ、重力を利用して貨車を流し込む入替方法